

JR東労組

盛岡地本釜石支部

釜石連合分会

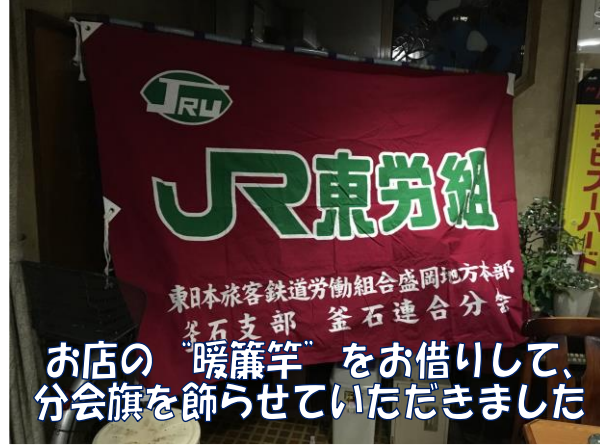
トライアングル

第 26 号
2019/2/3

発行責任者 及川 裕一郎
編集者 教 宣 部



釜石連合分会「2019 旗開き」を開催しました!



お店の「暖簾竿」をお借りして、分会旗を飾らせていただきました

2月1日、釜石市「板門店」にて、釜石連合分会「2019 旗開き」を開催しました。当日は強風により、釜石線・三陸鉄道リアス線の列車ダイヤが乱れるなど、天候が悪い中ではありましたが、来賓・エルダー組合員含め 19 名が参加し懇親を深めました。

及川分会長からは、「春のたたかい、一人一要求運動を貫徹し、組織の強化・拡大を目指していこう。地域の方々と連帯し、地方ローカル線を活性化させよう」と挨拶されました。また、支部佐々木副委員長からは、「組織の拡大なくして、東労組の発展はない。労働組合の必要性を訴えながら、全組合員で取り組んでいこう」と激励の挨拶をいただきました。

懇親会では、「恵方巻の早食い大会」を開催し6名が挑戦。“Mr.RUGBY”こと内藤忠臣さん（釜石派出所）が『大会新記録』で優勝しました。恵方巻の食品ロスが「社会問題」として取り上げられておりますが、6名は最後まで完食したことをご報告いたします。ごちそうさまでした(≧▽≦)



「春のたたかい」を通じて、働きやすい職場を創り出していこう

「地方ローカル線を守る4市町民の会」代表 村上幸三郎 様

「東日本大震災で被災した JR 各線の早期復旧を求めた署名」では、40万筆を超える署名を集めた。そして、震災から8年を経て、3月23日には「三陸鉄道リアス線」が開通する。嬉しさと同時に、これからは勝負だなと思っている。

2月5日に、宮古市で利用促進に向けたチラシ配布を予定している。マスコミも駆け付けるようで、取材に応じる予定でいる。今後は、各市町民の会を中心に、開通後の利用促進に向けて取り組んでいきたい。地域の取り組み参加含め、共に頑張ろう。

